

令和5年度
「かしわらっ子はぐくみテスト」における
結果の概要について

柏原市教育委員会

1. 目的

- 児童が自身の学習状況について知ることにより、学習に対しての目標を持ち、その向上にむけて意欲を高める。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 学校での取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 概要

- (1)実施日 令和5年12月7日(木)・8日(金)
- (2)対象 柏原市立小学校に通う第3学年から第6学年の児童
- (3)内容 ①教科に関する調査(国語、算数)
②生活習慣や学習に関する質問紙調査(i-Check)

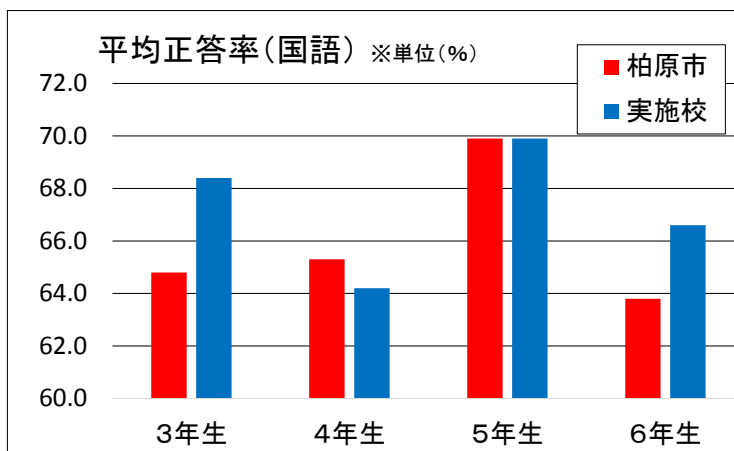
※実施校とは、はぐくみテストを実施した全国の小学校のことをさす。

令和5年度 かしわらっ子はぐくみテスト 結果

今年度の結果(国語)

平均正答率		
	柏原市	実施校
3年生	64.8	< 68.4
4年生	65.3	> 64.2
5年生	69.9	= 69.9
6年生	63.8	< 66.6

※単位(%)

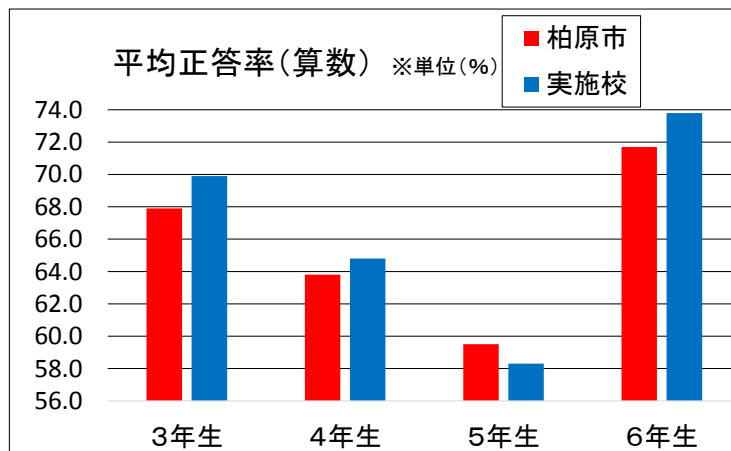


4年生は全国実施校の平均を上回ったが、4年生以外の学年では、全国平均を下回る結果となった。

今年度の結果(算数)

平均正答率		
	柏原市	実施校
3年生	67.9	< 69.9
4年生	63.8	< 64.8
5年生	59.5	> 58.3
6年生	71.7	< 73.8

※単位(%)

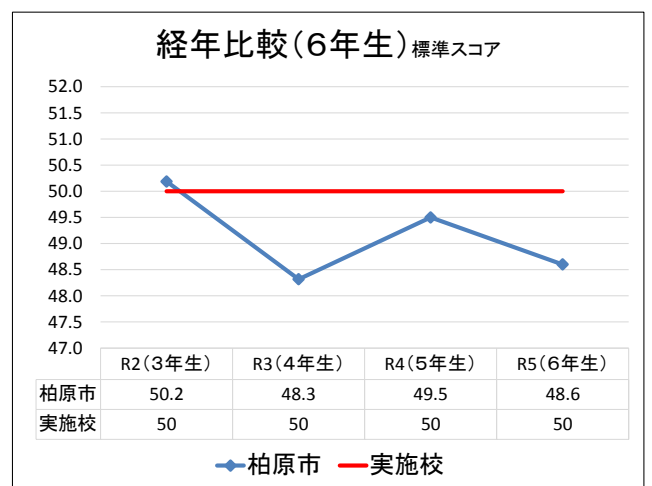
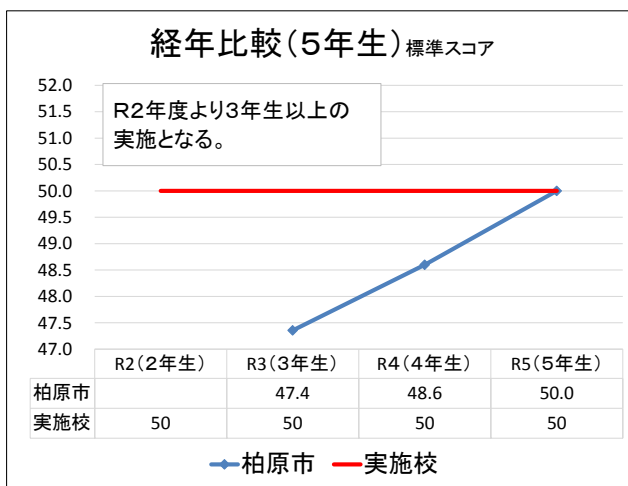
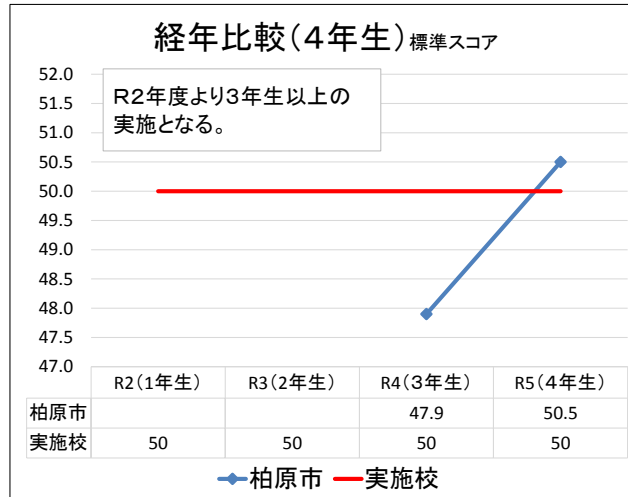


○5年生は全国実施校の平均を上回ったが、5年生以外の学年では全国実施校の平均を下回る結果となった。

令和5年度 かしわらっ子はぐくみテスト 結果

同一集団の成長(国語)

※標準スコアは、全国実施校値の正答率を50としたときの換算値です。

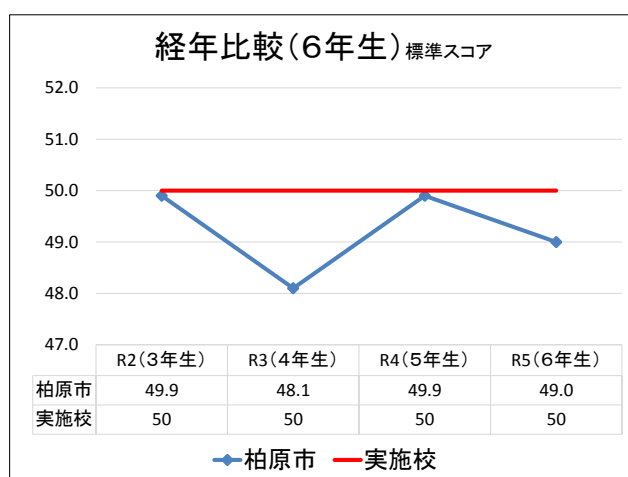
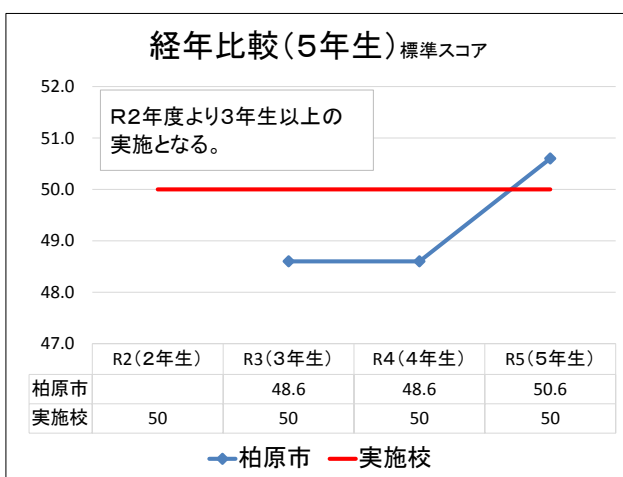
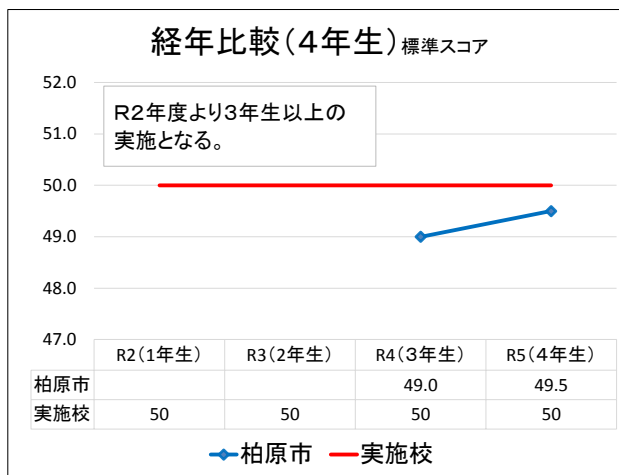


- 4・5年生は上昇傾向である。特に4年生は全国実施校の平均を上回る結果となった。
- 6年生は5年生時に4年生時を上回っていたが、今年度は5年生時を下回る結果となった。

令和5年度 かしわらっ子はぐくみテスト結果

同一集団の成長(算数)

※標準スコアは、全国実施校値の正答率を50としたときの換算値です。



○4年生と5年生で昨年度を上回る結果となった。

○5年生は昨年度に比べ大きく上昇し、全国実施校の平均を上回った。

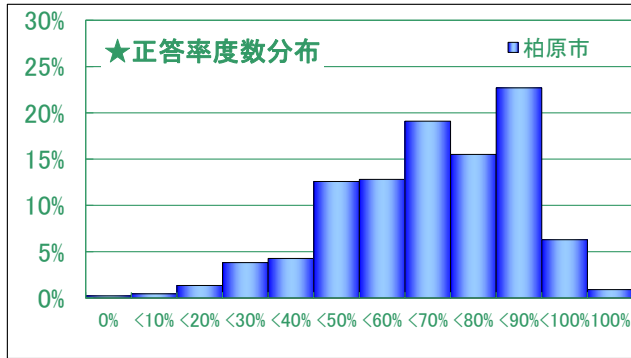
○6年生は昨年度よりも下降し、0.9ポイント下回った。

国語（3年）

問題別調査結果

※標準スコアは、全国実施校値の正答率を50としたときの換算値です。

分類	区分	正答率		＜標準スコアによるカテゴリー間の比較＞
		柏原市	実施校	
	全体	64.8	68.4	
	基礎	71.5	75.8	
	活用	50.6	52.8	
学習指導要領の領域等	言葉の特徴や使い方に関する事項	74.0	77.5	
	情報の扱い方に関する事項	47.0	49.0	
	話すこと・聞くこと	52.1	56.9	
	書くこと	57.8	62.2	
評価の観点	読むこと	60.2	63.9	
	知識・技能	67.8	70.9	
	思考・判断・表現	56.9	61.1	
問題形式	主体的に学習に取り組む態度	52.7	54.5	
	選択	65.9	70.9	
	短答	74.1	75.8	
	記述	51.8	55.0	



○すべての項目で全国実施校の平均を下回る結果となった。

○全国実施校の平均と差が大きかった領域は、「話すこと・聞くこと」で4.8ポイント、「書くこと」で4.4ポイント下回っている。

○市の重点課題としている「思考・判断・表現」でも、4.2ポイント下回った。

国語（3年）問題で課題の見られた設問

問題の内容	出題のねらい	正答率 (%)	
		柏原市	実施校
話し合いの内ようを聞き取る	話し手が伝えたいことの内容を捉えている。	72.6	81.5
	話の中心を明確にするための話し手の工夫を捉えている。	66.1	75.2
せつ明文の内ようを読み取る	情報と情報との関係について理解し、中心となる語や文を見付けて要約している。	19.6	20.6
文章を書く	段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書いている。	47.4	57.8

国語（3年）問題で無解答が多かった設問

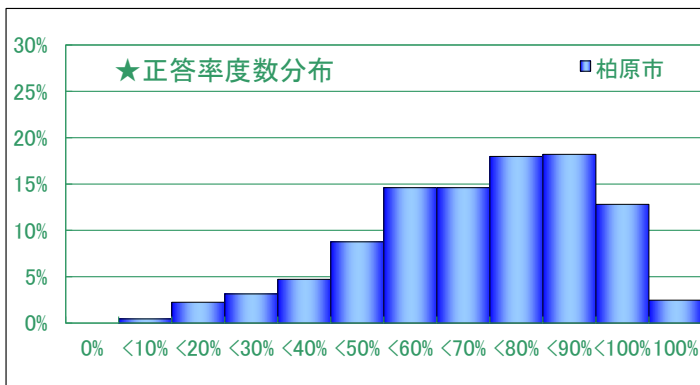
問題の内容	出題のねらい	無解答率 (%)
せつ明文の内ようを読み取る	情報と情報との関係について理解し、中心となる語や文を見付けて要約している。	12.6
文章を書く	指定された長さで文章を書いている。	14.2
	段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書いている。	14.2
	自分の考えとそれを支える理由や事例を明確にして文章を書いている。	14.2
	内容の中心を明確にし、自分の考えを書いている。	14.2

算数（3年）

問題別調査結果

※標準スコアは、全国実施校値の正答率を50としたときの換算値です。

分類	区分	正答率		＜標準スコアによるカテゴリー間の比較＞
		柏原市	実施校	
	全体	67.9	69.9	
	基礎	75.7	78.5	
	活用	56.5	57.5	
学習指導要領の領域等	数と計算	67.6	69.5	
	図形	64.8	65.8	
	測定	70.4	73.7	
評価の観点	知識・技能	73.5	75.4	
	思考・判断・表現	47.9	50.3	
	主体的に学習に取り組む態度	55.6	56.4	
問題形式	選択式	73.6	75.5	
	短答式	67.0	69.6	
	記述式	28.3	28.6	



○すべての項目で全体の平均正答率を下回る結果となった。

○全国実施校の平均と差が大きかった項目としては、「基礎」で2.8ポイント、「測定」で3.3ポイント、「短答式」で2.6ポイント下回っている。

○記述式の問題形式について、全国実施校の平均を下回ったものの、正答率はほぼ同程度であった。

算数（3年）問題で課題の見られた設問

問題の内容	出題のねらい	正答率(%)	
		柏原市	実施校
たし算・ひき算	3けた+3けた=3けた(繰り上がり2回)の計算ができる。	78.0	85.0
	4けた-3けた=3けた(波及的繰り下がりあり)の計算ができる。	63.6	73.3
長さ・重さ	はかりの目盛りの読み方を理解している。	78.7	84.4
わり算	文章問題を解くために立式した除法の式から、あまりの処理をして、正しい答えを求めている。	49.7	56.3
	対象者の順番と1班あたりの人数から、対象者が何班になったかを説明している。	18.7	19.2

算数（3年）問題で無解答が多かった設問

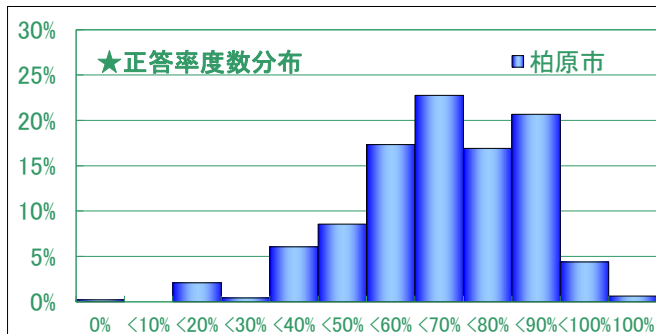
問題の内容	出題のねらい	無解答率(%)
かけ算	60×3の計算のしかたを、10の何個分かをもとに説明している。	10.6
わり算	対象者の順番と1班あたりの人数から、対象者が何班になったかを説明している。	30.1
円と球	円の半径から、長方形のプレートの横の辺の長さを求めることができる。	29.2

国語（4年）

問題別調査結果

※標準スコアは、全国実施校値の正答率を50としたときの換算値です。

分類	区分	正答率		＜標準スコアによるカテゴリー間の比較＞
		柏原市	実施校	
	全体	65.3	64.2	
	基礎	70.0	68.7	
	活用	56.5	55.8	
学習指導要領の領域等	言葉の特徴や使いに関する事項	74.1	73.0	
	情報の扱いに関する事項	41.1	41.4	
	我が国の言語文化に関する事項	85.4	90.8	
	話すこと・聞くこと	53.2	52.7	
	書くこと	55.2	46.5	
評価の観点	読むこと	61.7	63.1	
	知識・技能	67.8	67.5	
	思考・判断・表現	57.1	55.2	
問題形式	主体的に学習に取り組む態度	49.6	44.6	
	選択式	70.3	70.2	
	短答式	69.1	70.2	
	記述式	50.1	44.4	



○15項目ある分類のうち、11項目で全国実施校の平均を上回っている。

○「書くこと」の領域で8.7ポイント全国実施校の平均を上回り、「記述式」でも5.7ポイント上回っている。

○全国実施校の平均を最も下回った領域は「我が国の言語文化に関する事項」で5.4ポイント下回ったが、正答率は85.4%となっている。

国語（4年）問題で課題の見られた設問

問題の内容	出題のねらい	正答率 (%)	
		柏原市	実施校
漢字を書く	①第3学年に配当されている漢字を正しく書いている。	57.6	63.5
	②第3学年に配当されている漢字を正しく書いている。	43.6	49.0
言葉の学習	ことわざの意味を知り、正しく使っている。	85.4	90.8
物語の内容を読み取る	文章を読んで感じたことや考えたことを共有している。	66.2	71.4
説明文の内容を読み取る	情報と情報との関係について理解し、中心となる語や文を見付けて要約している。	28.2	33.3
調べて分かったことを発表する	情報と情報との関係について理解し、理由や事例などを挙げながら話している。	27.8	26.2

国語（4年）問題で無解答が多かった設問

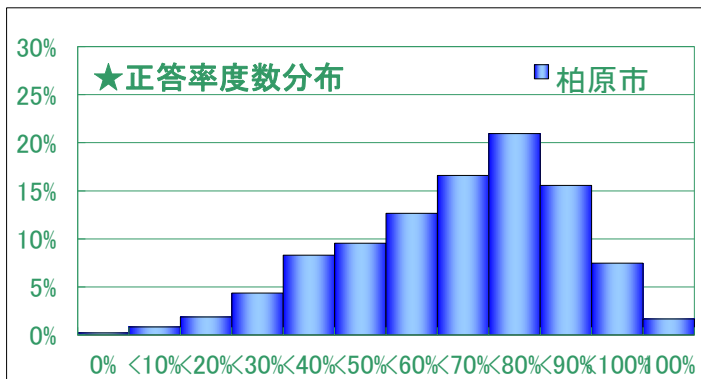
問題の内容	出題のねらい	無解答率 (%)
説明文の内容を読み取る	情報と情報との関係について理解し、中心となる語や文を見付けて要約している。	10.0
調べて分かったことを発表する	情報と情報との関係について理解し、理由や事例などを挙げながら話している。	16.5
文章を書く	指定された長さで文章を書いている。	15.7
	段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書いている。	15.7
	内容の中心を明確にし、事実を伝える文章を書いている。	15.7
	内容の中心を明確にし、事実と自分の考えを書いている。	15.7

算数（4年）

問題別調査結果

※標準スコアは、全国実施校値の正答率を50としたときの換算値です。

分類	区分	正答率		＜標準スコアによるカテゴリー間の比較＞
		柏原市	実施校	
	全体	63.8	64.8	
	基礎	68.5	69.6	
	活用	56.4	57.3	
学習指導要領の領域等	数と計算	67.3	68.0	
	図形	59.7	62.9	
	変化と関係	70.2	75.8	
	データの活用	46.3	45.4	
評価の観点	知識・技能	69.7	70.3	
	思考・判断・表現	51.3	53.3	
	主体的に学習に取り組む態度	44.0	45.5	
問題形式	選択式	66.7	68.1	
	短答式	66.2	67.1	
	記述式	24.9	25.3	



- 全体的に全国実施校の平均正答率を下回った。
- 領域別にみると、「データの活用」で全国の実施校平均を0.9ポイント上回った。
- 全国実施校の平均と最も差が大きかった領域は「変化と関係」で、5.6ポイント下回っている。

算数（4年）問題で課題の見られた設問

問題の内容	出題のねらい	正答率（%）	
		柏原市	実施校
小数	小数第一位＋小数第二位の計算ができる。	72.6	86.4
	示された考えをもとに、数の相対的な大きさを使って、小数の減法を整数の減法に直している。	19.3	28.0
簡単な場合についての割合	基準量を求める除法の文章問題を表した図を選ぶことができる。	77.0	85.3
垂直・平行と四角形	ひし形の作図ができる。	51.7	59.3
折れ線グラフ	問題を算数化し、折れ線グラフと棒グラフをもとに、目的にあう月を求めている。	20.5	18.6

算数（4年）問題で無解答が多かった設問

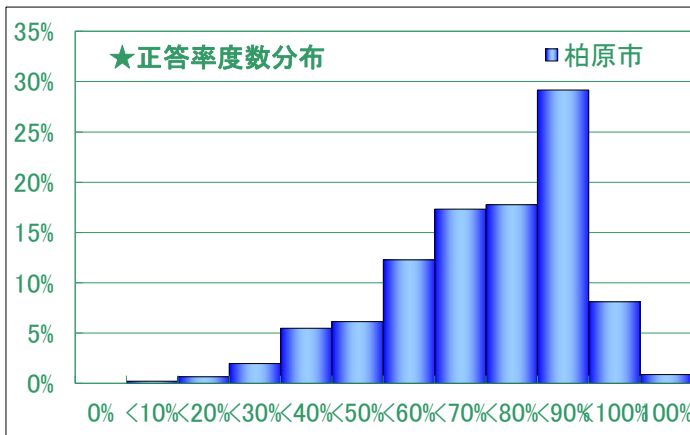
問題の内容	出題のねらい	無解答率（%）
わり算	3けた÷2けた＝1けた（余りあり）の計算ができる。	8.7
折れ線グラフ	問題を算数化し、折れ線グラフと棒グラフをもとに、目的にあう月を求めている。	9.5
わり算	除法の性質を理解し、工夫した計算のしかたを説明している。	18.0

国語（5年）

問題別調査結果

※標準スコアは、全国実施校値の正答率を50としたときの換算値です。

分類	区分	正答率		＜標準スコアによるカテゴリー間の比較＞
		柏原市	実施校	
	全体	69.9	69.9	
	基礎	74.9	75.2	
	活用	58.7	57.7	
学習指導要領の領域等	言葉の特徴や使い方に関する事項	74.8	75.0	
	情報の扱い方に関する事項	39.9	37.2	
	我が国の言語文化に関する事項	48.0	50.7	
	話すこと・聞くこと	70.0	69.6	
	書くこと	66.5	64.1	
評価の観点	読むこと	67.5	67.5	
	知識・技能	67.9	67.9	
	思考・判断・表現	67.6	66.6	
問題形式	主体的に学習に取り組む態度	61.1	59.6	
	選択式	70.7	72.5	
	短答式	74.4	73.7	
	記述式	62.2	59.5	



○全体の結果としては全国実施校と同じ結果となっている。

○「情報の扱い方に関する事項」で2.7ポイント、「書くこと」で2.4ポイント、「記述式」で2.7ポイント全国実施校を上回った。

○全国実施校の平均を最も大きく下回った項目は「我が国の言語文化に関する事項」で、2.7ポイント下回った結果となっている。

国語（5年）問題で課題の見られた設問

問題の内容	出題のねらい	正答率(%)	
		柏原市	実施校
言葉の学習	漢字の由来について理解している。	48.0	50.7
	連用修飾語について理解している。	18.4	25.0
文章を書く	指定された長さで文章を書いている。	62.7	58.9

国語（5年）問題で無解答が多かった設問

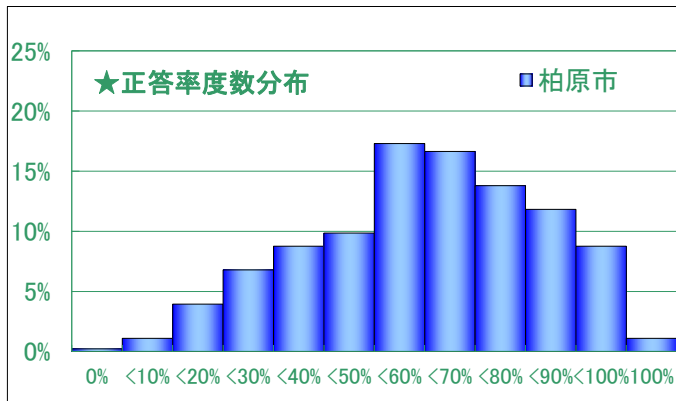
問題の内容	出題のねらい	無解答率 (%)
言葉の学習	文章の中で、文脈に沿った漢字を適切に使っている。	13.4
ポスターを作る	情報と情報との関係について理解し、目的に応じて、文章を簡単に書いている。	13.8
文章を書く	指定された長さで文章を書いている。	15.6
	段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書いている。	15.6
	自分の意見を明確にして書いている。	15.6
	自分の意見を支える理由を明確にして書いている。	15.6

算数（5年）

問題別調査結果

※標準スコアは、全国実施校値の正答率を50としたときの換算値です。

分類	区分	正答率		＜標準スコアによるカテゴリー間の比較＞
		柏原市	実施校	
	全体	59.5	58.3	
	基礎	67.0	66.4	
	活用	41.4	38.5	
学習指導要領の領域等	数と計算	63.3	62.6	
	図形	65.7	65.7	
	変化と関係	42.1	39.1	
	データの活用	40.6	35.3	
評価の観点	知識・技能	67.6	66.3	
	思考・判断・表現	44.9	43.6	
	主体的に学習に取り組む態度	41.4	37.3	
問題形式	選択式	61.5	61.4	
	短答式	62.9	61.0	
	記述式	20.7	15.7	



- すべての項目で全国実施校の平均正答率以上の結果となっている。
- 「データの活用」と「記述式」の項目で5ポイント以上、全国実施校の平均を上回っている。
- 同一集団での経年変化でも令和4年度を上回る結果となっている。

算数（5年）問題で課題の見られた設問

問題の内容	出題のねらい	正答率(%)	
		柏原市	実施校
整数のなかま分け	偶数について理解している。	77.0	88.7
	最大公約数について理解し、それを求めることができる。	72.6	76.1
小数のかけ算・わり算	小数の除法(小数÷純小数)の文章問題を図に表している。	40.3	48.1
図形の角	三角形の3つの角の和を理解し、2つの角の大きさから残りの角の大きさを求めることができる。	66.5	71.4
単位あたり量の大きさ・比例	1人あたりのたたみの数やたたみ1枚あたりの人数を求めて、どちらの部屋がこんでいるのかを説明している。	19.5	15.3
	単位量あたりの大きさから、大人の人数を求めることができる。	23.4	19.1
平均	走る距離と歩幅の平均から、ある距離を走るときにおよそ何歩かかるかを求めている。	31.5	28.2
	問題の場面を理解し、4日間に走った道のりの平均から、2週間に走ると考えられる道のりを求めている。	21.9	16.0

算数（5年）問題で無解答が多かった設問

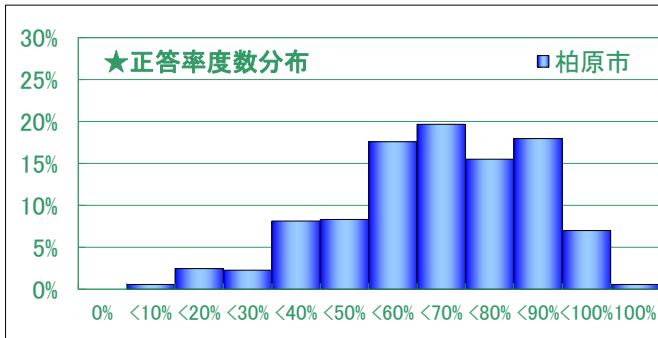
問題の内容	出題のねらい	無解答率(%)
単位あたり量の大きさ・比例	単位量あたりの大きさから、大人の人数を求めることができる。	31.1
平均	走る距離と歩幅の平均から、ある距離を走るときにおよそ何歩かかるかを求めている。	26.7
	問題の場面を理解し、4日間に走った道のりの平均から、2週間に走ると考えられる道のりを求めている。	31.1

国語（6年）

問題別調査結果

※標準スコアは、全国実施校値の正答率を50としたときの換算値です。

分類	区分	正答率		＜標準スコアによるカテゴリー間の比較＞
		柏原市	実施校	
	全体	63.8	66.6	
	基礎	64.4	66.2	
	活用	62.7	67.3	
学習指導要領の領域等	言葉の特徴や使い方に関する事項	61.6	62.9	
	情報の扱い方に関する事項	45.9	55.3	
	我が国の言語文化に関する事項	65.6	73.1	
	話すこと・聞くこと	72.3	75.3	
	書くこと	65.1	67.6	
評価の観点	読むこと	63.5	67.6	
	知識・技能	59.6	62.5	
	思考・判断・表現	65.9	69.1	
問題形式	主体的に学習に取り組む態度	59.0	61.9	
	選択式	66.2	71.1	
	短答式	62.2	62.2	
	記述式	61.2	63.4	



○すべての項目で全国実施校の平均を下回っている。

○全国実施校の平均と差が大きかった項目は領域別の「情報の扱い方に関する事項」で9.3ポイント、「我が国の言語に関する事項」で7.5ポイントの開きがあった。

○60%～80%の正答率が全体の半数程度をしめている。

国語（6年）問題で課題の見られた設問

問題の内容	出題のねらい	正答率 (%)	
		柏原市	実施校
言葉の学習	三字の熟語の成り立ちについて理解している。	52.6	60.2
	文章の中で、文脈に沿った漢字を適切に使っている。	86.4	94.2
	敬語について理解し、正しく使っている。	16.3	23.9
	文と文との接続の関係を理解している。	49.1	56.8
	語句の由来に関心をもち、和語、漢語、外来語について理解している。	65.6	73.1
説明文の内容を読み取る	情報と情報との関係について理解し、文章の情報を整理している。	47.4	55.0
ポスターを作る	情報と情報との関係について理解し、目的に応じて、文章を簡単に書いている。	44.4	55.5

国語（6年）問題で無解答が多かった設問

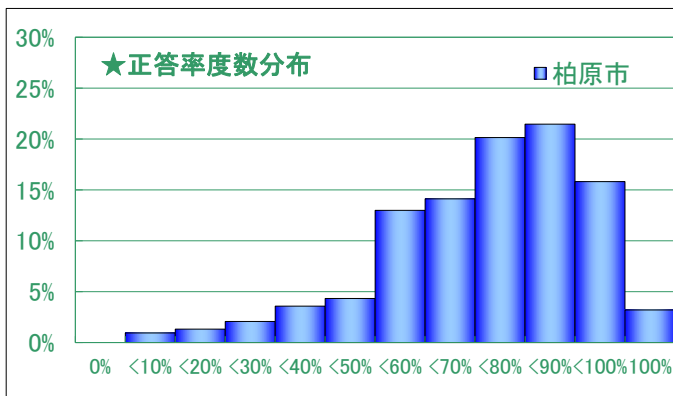
問題の内容	出題のねらい	無解答率 (%)
漢字を書く	②第5学年に配当されている漢字を正しく書いている。	18.7
	③第5学年に配当されている漢字を正しく書いている。	13.6
言葉の学習	文と文との接続の関係を理解している。	9.3
文章を書く	指定された長さで文章を書いている。	10.8
	段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書いている。	10.8
	自分の意見とその理由を明確にして書いている。	10.8
	予想される反論とそれに対する意見を書いている。	10.8

算数（6年）

問題別調査結果

※標準スコアは、実施校値の正答率を50としたときの換算値です。

分類	区分	正答率		＜標準スコアによるカテゴリー間の比較＞
		柏原市	実施校	
	全体	71.7	73.8	
	基礎	76.5	79.2	
	活用	61.2	61.9	
学習指導要領の領域等	数と計算	70.3	73.8	
	図形	77.0	77.2	
	変化と関係	63.2	64.4	
評価の観点	知識・技能	77.3	80.1	
	思考・判断・表現	57.4	57.5	
	主体的に学習に取り組む態度	60.8	61.5	
問題形式	選択式	69.6	70.9	
	短答式	79.4	82.2	
	記述式	30.3	32.3	



○すべての項目で全国の実施校を下回る結果となった。

○「数と計算」領域は、全国実施校の平均との差が最も大きく、3.5ポイントの開きがあった。

○正答率が80%を超えた児童は全体の約60%となっている。

算数（6年）問題で課題の見られた設問

問題の内容	出題のねらい	正答率 (%)	
		柏原市	実施校
分数のかけ算・わり算	真分数×真分数(約分1回)の計算ができる。	82.1	90.6
	真分数÷真分数(約分なし)の計算ができる。	83.4	92.7
	真分数÷帯分数(約分2回)の計算ができる。	78.5	88.2
	真分数÷真分数×仮分数の計算ができる。	80.0	87.4
	比較量、基準量が分数の場合において、比較量が基準量の何倍になるかを求める式を選ぶことができる。	48.6	55.5
	分数の除法の文章問題にあった式を選ぶことができる。	52.7	59.7
	分数のわり算を、被除数と除数に同じ数をかけて、整数のわり算にして計算する方法を説明している。	17.7	19.8
比と比の値	比の値について理解している。	71.9	78.9

算数（6年）問題で無解答が多かった設問

問題の内容	出題のねらい	無解答率 (%)
比と比の値	比の値について理解している。	9.6
分数のかけ算・わり算	分数のわり算を、被除数と除数に同じ数をかけて、整数のわり算にして計算する方法を説明している。	15.3

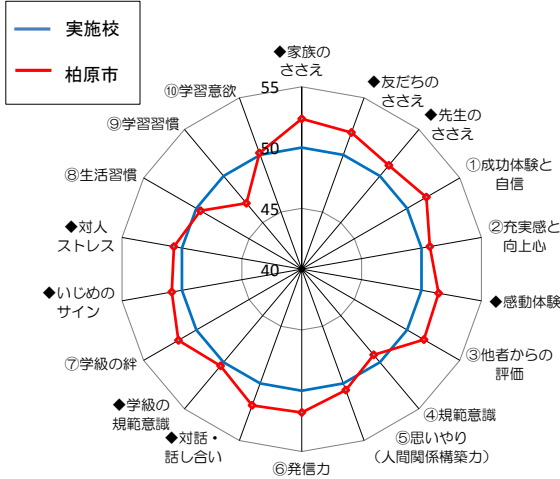
アンケート結果 (i-Checkより)

〇はぐくみテスト全体とi-checkの結果について

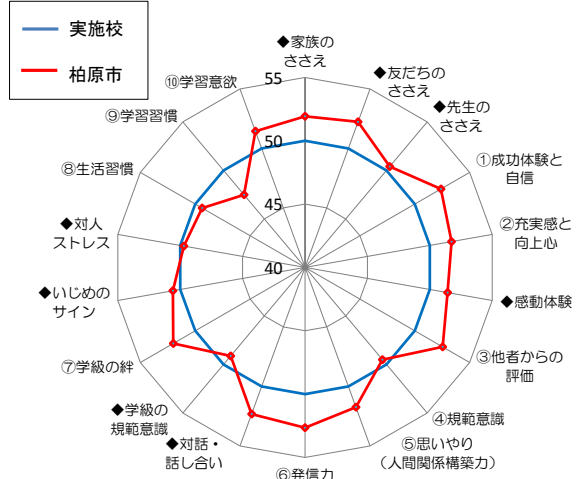
はぐくみテスト正答率 (%)

	3 年		4 年		5 年		6 年	
	柏原市	実施校	柏原市	実施校	柏原市	実施校	柏原市	実施校
国 語	64.8	68.4	65.3	64.2	69.9	69.9	63.8	66.6
算 数	67.9	69.9	63.8	64.8	59.5	58.3	71.7	73.8

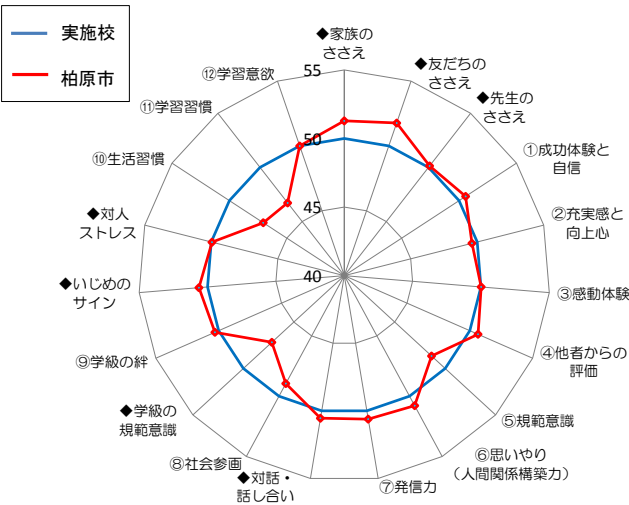
3 年



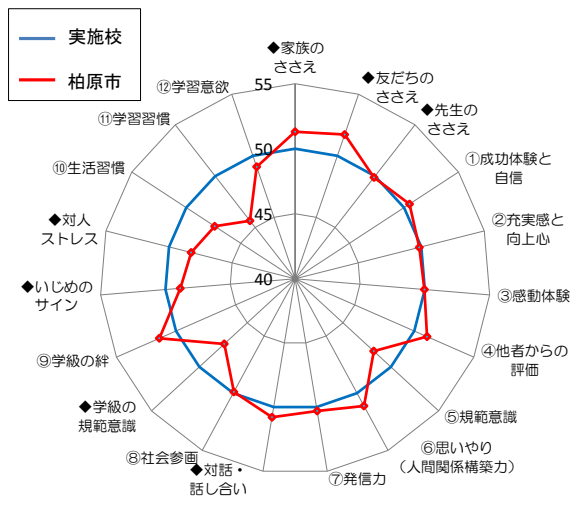
4 年



5 年



6 年



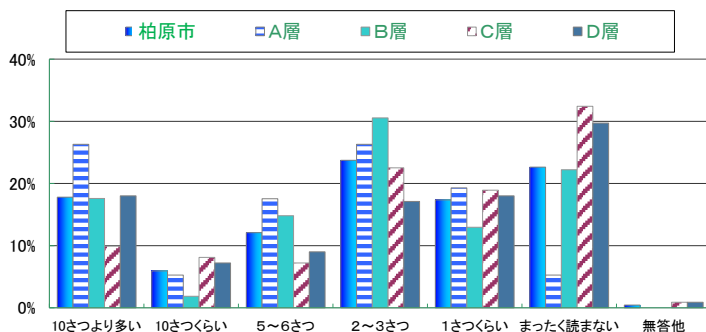
〇はぐくみテスト全体の結果が全国実施校の平均を上回っている学年でも、【学習習慣】が全国実施校の平均を大きく下回っている。
 〇【成功体験と自信】や【充実感と向上心】などの【自己肯定感】や【人間関係構築力】は全国実施校の平均を上回っている。
 〇【学級の絆】は全学年で全国実施校の平均を上回っているものの、4年生以上で【学級の規範意識】が全国実施校を下回っている。

アンケート結果 (i-Checkより)【学習習慣】 (学力調査とのクロス集計により)

○ 1週間で何冊くらい本を読んでいますか。

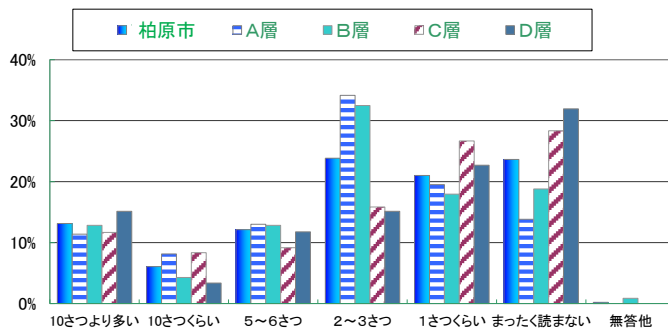
※クロス集計では、学力調査の正答率を4等分し、上からA層、B層、C層、D層と分けています。

3年



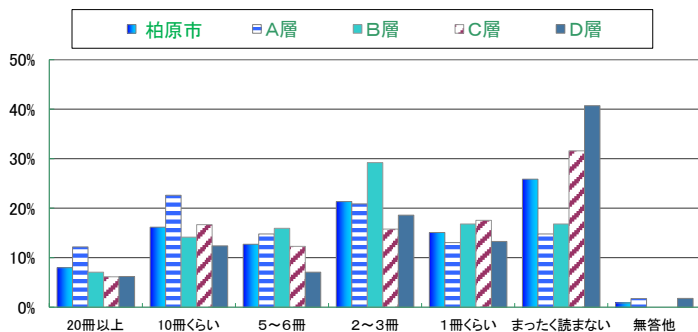
選択肢	1	2	3	4	5	6	無答他
	10以上 より多い	10以下 くらい	5~6冊	2~3冊	1冊以下 くらい	まったく 読まない	
柏原市	17.8	5.9	12.1	23.7	17.4	22.6	0.4
A層	26.3	5.3	17.5	26.3	19.3	5.3	0.0
B層	17.6	1.9	14.8	30.6	13.0	22.2	0.0
C層	9.9	8.1	7.2	22.5	18.9	32.4	0.9
D層	18.0	7.2	9.0	17.1	18.0	29.7	0.9

4年



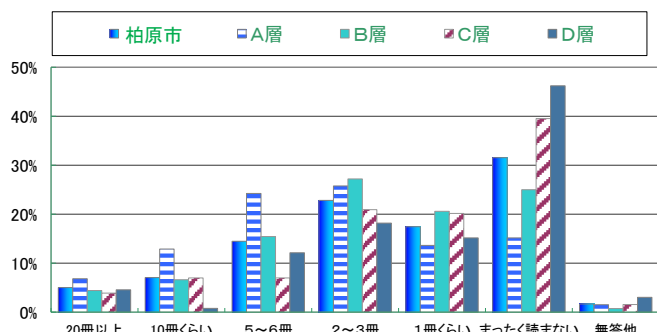
選択肢	1	2	3	4	5	6	無答他
	10以上 より多い	10以下 くらい	5~6冊	2~3冊	1冊以下 くらい	まったく 読まない	
柏原市	13.1	6.1	12.1	23.8	21.0	23.6	0.2
A層	11.4	8.1	13.0	34.1	19.5	13.8	0.0
B層	12.8	4.3	12.8	32.5	17.9	18.8	0.9
C層	11.7	8.3	9.2	15.8	26.7	28.3	0.0
D層	15.1	3.4	11.8	15.1	22.7	31.9	0.0

5年



選択肢	1	2	3	4	5	6	無答他
	20冊以上	10冊以下 くらい	5~6冊	2~3冊	1冊以下 くらい	まったく 読まない	
柏原市	8.0	16.2	12.7	21.3	15.1	25.9	0.9
A層	12.2	22.6	14.8	20.9	13.0	14.8	1.7
B層	7.1	14.2	15.9	29.2	16.8	16.8	0.0
C層	6.1	16.7	12.3	15.8	17.5	31.6	0.0
D層	6.2	12.4	7.1	18.6	13.3	40.7	1.8

6年



選択肢	1	2	3	4	5	6	無答他
	20冊以上	10冊以下 くらい	5~6冊	2~3冊	1冊以下 くらい	まったく 読まない	
柏原市	5.0	7.1	14.5	22.8	17.4	31.5	1.7
A層	6.8	12.9	24.2	25.8	13.6	15.2	1.5
B層	4.4	6.6	15.4	27.2	20.6	25.0	0.7
C層	3.9	7.0	7.0	20.9	20.2	39.5	1.6
D層	4.5	0.8	12.1	18.2	15.2	46.2	3.0

○ 1週間の読書量とはぐくみテストの関係をクロス集計した結果である。

○ 全学年で、まったく読まない(黄色)と回答した児童はC層やD層の値が高い傾向にあった。

○教育委員会としての今後の取組み

- ・かしわらっ子はぐくみプラン(第3期)に基づいて、指導と評価の一体化や「思考力・判断力・表現力」を高めるための具体的な施策を提案及び実施する。
- ・教員の指導力育成のために、教員が当事者意識を持ち、主体的に参加できる研修を企画・運営する。
- ・効果的な研修を精選して行い、教員が子どもと向き合う時間を確保する。
- ・優れた実践をしている教員による研修や公開授業をとおして、経験の浅い教員が高い指導技術を習得できるようにする。
- ・幼小中一貫教育をより一層推進し、系統性・連続性のある学びの研究を進める。
- ・家庭学習習慣の定着に向けた取組みの好事例を収集し、学校や保護者に啓発する。
- ・情報モラルについて学べる研修を実施し、保護者に啓発する。

○学校における今後の取組み

- ・教員全員の指導力向上と授業改善が進むよう、校内研修や授業研究会を充実させる。
- ・授業においてICTを積極的に活用し、「思考力・判断力・表現力」を高めるための授業づくりをすすめる。
- ・道徳教育や人権教育を中心に、自他ともに大切にし、思いやりや優しさが育まれる心の教育を充実させる。
- ・各中学校区で幼小中の教員や子どもたちの交流を充実させ、連続した視点での指導を確立させる。
- ・家庭と連携した家庭学習習慣の定着に向けた取組みを充実させる。

○家庭にお願いすること

学習能力の向上につなげる

① 基本的な生活習慣の定着

- ・決まった時間に寝起きして、生活リズムを意図的につくる。
- ・体温のリズムやホルモンのバランスが崩れないよう、おおむね8時間以上の睡眠を取るよう促す。
- ・朝ごはんを食べるよう促し、やる気や集中力を高め、学校での学習能力の向上につなげる。
- ・学習に必要な持ち物がそろっているか確認する習慣を作る。

② 家庭学習習慣の定着

- ・発達段階に応じて家庭学習時間のめやす(学年×10分)を決める。
※中学第1学年生徒は、7年生とする
- ・毎日の宿題ができているかを確認する。

③ スマートフォンやゲーム等、メディアについてのルール作り

- ・テレビ、ゲーム、携帯電話、スマートフォン、パソコン等の使用時間や使い方について家庭内で子どもと定期的によく話し合い、ルールを決める。
- ・携帯電話やスマートフォンの使用状況について確認する。